

2019年度特定非営利活動に係る事業報告

NPO法人八千代オイコス

<実施事業の総括>

2019年度も基本的な活動ベースを、<子ども達の教育の場>作りを重点においた施策を行動指針として活動を行った。柱とする「川の学校」は開校日を一日とし、2回の開催日を計画した。また、本年度は更に<子ども達への教育の場>として、田んぼの活動を昨年の実績経験を活かし充実した指導により、多数の児童（父兄を含む）に田植え～稲刈り・脱穀迄の米づくり体験の挑戦に円滑なサポートが出来た。

これらの計画を推進するにあたり、活動資金の裏付けとして「八千代市民活動団体支援金交付制度」及び「コープみらい財団助成金」の支援を受け大きな成果を得た。

<実施事業内容>

1. 地域環境の保全を図るための自然環境調査・評価事業

よみがえれ花輪川事業（豊かな自然を感じられる花輪川）

- ① 毎月の川作業の効率性と内容向上を高める為、専門推進担当の下進めた。
しかし、当初計画の水草の増殖にまでは至らず、次年度の課題としたい。
- ② 花壇、遊歩道の整備は季節毎に充実を計り利用する市民へ貢献が出来た。
特に花壇関係の整理作業には、特定担当の専門活動にて効果的な環境整備を継続してきたが、本年度を以って退会の予定で今後の維持管理に対策が必要。

2. 自然開発に関する意識開発の為の教育支援事業

①川の学校 in 花輪川

今年は一開催2日間コースを一日コースに改め延べ2日間のコースとした。
しかし、今年も一回目の7月28日（日）は大雨（台風6号）の影響で中止とした。
二回目の8月4日（日）は予定通り举行出来た。小学生30名を含め総勢50名の参加でした。

今年は県立八千代東高校の学生3名がボランティアスタッフとして参加した。

②米づくり体験

島田谷津の米づくりも2年目となり、オイコススタッフの作業指導により5月の田植えより順調にスタートした。しかし、6～7月の天候不順による日照不足で稲の成長を心配したが、8月の天候回復で稲も順調に育ち、9月の稲刈り・ハザ掛け作業と進んだ。

この事によりオイコスの目指す、「子ども達の教育の場」を通して子ども達に自然の営みを体験させる事が出来た。

- ③ オイコスの継続活動として、「エコウォーキング」を春・秋行っているが最近では地

域の歴史をたどりながら、併せてゴミ拾いを行う事で参加者に環境保護の意識を高めてもらう企画が定着してきた。秋 10 月 20 日の企画については一般の参加者が無く PR の方法に課題を残した。

今後広報やちよ、地域新聞、チラシを以って万全の PR を図りたい。

3. 地域のホタル棲息環境の保全・観測調査

- ①年一回のホタル観賞会は継続し、今年度も 8 月 3 日（土）開催した。オイコススタッフ含め総勢約 5 1 名が市内の数少ない棲息地・石神谷津で観賞会に参加、夏の夜を楽しんだ。

4. まちづくり活動に係る行政、諸団体との協働及びネットワーク構築事業

(1) 市民活動団体支援金制度（1%）に応募。

花輪川に関わる活動資金の源泉として、本年も会全体で取り組んだ。
結果、制度申請以来初めての満額 100,000 円の助成金を得た。

(2) 行政及び市民団体との協働。

- ・ほたるの里実行委員会及び応援活動。
- ・千葉県による八千代市生物モニタリング調査。

① 八千代市市民活動サポートセンターでの協働。

八千代オイコスより市民活動サポートセンターへの継続的にスタッフを派遣その運営に積極的に参画している。

- ・2019 年 9 月 4 日 ボランティアカフェ
- ・2019 年 11 月 3 日市民活動フェスティバル 2019
- ・2019 年 11 月 13 日行政—市民活動団体意見交換会
- ・2019 年 12 月 6 日 地域デビュー講座
- ・2020 年 2 月 1 日 ボランティアカフェ

② 千葉県との協働

- ・千葉県環境報告定期講読（ネット配信）
- ・千葉県「印旛沼連携プログラム」として年 2 回の「花輪川エコウォーキング」開催。

③ その他

- ・市民活動団体連合会として、第 4 回「千本桜まつり」実行委員会で参加
- ・ボーイスカウト第 2 団との共同活動。ボーイスカウトデイ 9 月 29 日（日）
ボーイ側 38 名、オイコス 5 名 共同行事参加
- ・ヤマトミクリの里づくり協議会（島田谷津保全活動）休耕田草刈り、オオフサモ駆除。

- ・環境パートナーシップちば総会出席。
- ・緑が丘公民館主催“夏休み子ども教室「川で遊ぼう」” 8月18日（日） 協賛応援。

（3）企業との協賛

- ・今年度もイオン八千代緑が丘店に於いて「イオン幸せの黄色いレシート」キャンペーンに引き続き参加。毎月11日に店頭活動を行い年度末決算（2月）に、年間協力期間の参加実績（レシートの1%相当額）53300円のイオンギフトカードを受給。会員のパソコンインクや事務用品具の購入に当てた。

（4）広報活動

- ① 八千代オイコス会報「かわら版」の発行
本年度は40号（6月）、41号（9月）、42号（2月）を発刊し、市内公共機関や海員等に配布し八千代オイコスの活動を広く紹介した。又、オイコスイベントに参加の子ども達に、感想文を寄稿してもらい、発行の都度家庭へも届け思い出作りの記念誌とした。
- ② ホームページの充実
オイコスの活動状況を逐一掲載、「かわら版」とは別にオイコス行事をフォローしPR効果を高めている。

（5）本年度の成果と留意点

オイコスの活動の拠点とする花輪川で創立以来活動を継続してきた。会のテーマとする「花輪川～印旛沼」のクリーン化を目指して活動は毎月継続してきた。しかし、十数年の活動を通して印旛沼が理想の姿に変化した効果も顕著には見られず、活動にジレンマを感じる面もあると昨年記したが、我々の目指す目標を見直し具体活動を取り入れる必要がある。

本年度も“子ども達への地域の教育の場”作りを重要指針とし、「川の学校」に加えて「米づくり体験」の事業を継続展開出来た事は大きな成果となった。

川の環境向上活動等には、更に一層の努力が必要であるが、今後の課題としたい。又、新規メンバーの加入促進にも力を入れて行きたい。

最後に、オイコス創設以来会員の退会、新規加入が繰り返されてきたが、会の生い立ち、歴史も知らない会員が増え以前より懸案の会の勉強会を4月14日総会終了時に実施。会員のベクトル合わせが出来た。

—以上—